

| | | | |
|---|---|------|-------------|
| 分野（領域） | 専門分野Ⅱ 【老年看護学】 | 科目名 | 老年看護学概論 |
| 単位（時間） | 1（15時間） | 開講時期 | 1年次 2年次 3年次 |
| 講師 | 外部講師 | | |
| 科目目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 老年期にある人の身体的・精神的・社会的特徴と発達課題が理解できる。 2. 老年期にある人を人間として成長発達している存在と捉え、一人ひとりの生命と人格を尊重する態度を養う。 3. 社会構造の変化・高齢化に伴う高齢者の保健・医療・福祉のあり方と機能・役割を理解する。 4. 加齢（老化）に伴う高齢者の特徴、および健康障害の特徴と症状・検査・治療に対する援助方法を理解できる。 5. 高齢者の特徴を理解し、高齢者の立場に立った援助の必要性が理解できる。 | | |
| <p>【講義内容】</p> <p>第1章 老いるということ、 老いを生きるということ</p> <p>A 老年看護を学ぶ入り口 B 「老いる」ということ C 老いを生きるということ</p> <p>第2章 超高齢社会と社会保障</p> <p>A 超高齢社会の統計的輪郭 B 高齢社会における保健医療福祉の動向 C 高齢者の権利擁護</p> <p>第3章 老年看護のなりたち</p> <p>A 老年看護のなりたち B 老年看護の役割 C 老年看護における理論・概念の活用 D 老年看護に携わる者の責務</p> <p>第4章 高齢者のヘルスアセスメント</p> <p>A ヘルスアセスメントの基本 B 身体の高齢変化とアセスメント</p> <p>第5章 高齢者の生活機能を整える看護</p> <p>A 日常生活を支える基本的活動 B 食事・食生活 C 排泄 D 清潔 E 生活リズム F コミュニケーション G セクシュアリティ H 社会参加</p> <p>第6章 健康逸脱からの回復を促す看護</p> <p>A 症候のアセスメントと看護 B 身体疾患のある高齢者の看護 C 認知機能障害のある高齢者の看護</p> <p>第7章 治療を必要とする高齢者の看護</p> <p>A 検査を受ける高齢者の看護 B 薬物療法を受ける高齢者の看護 C 手術を受ける高齢者の看護 D リハビリテーションを受ける高齢者の看護 E 入院治療を受ける高齢者の看護</p> <p>第8章 エンドオブライフケア</p> <p>A エンドオブライフケアの概念 B 「生ききる」ことを支えるケア C 意思決定への支援 D 末期段階に求められる援助</p> <p>第9章 生活・療養の場における看護</p> <p>A 高齢者とヘルスプロモーション B 保健医療福祉施設および居住施設における看護 C 治療・介護を必要とする高齢者を含む D 多職種連携実践による活動</p> <p>第10章 高齢者のリスクマネジメント</p> <p>A 高齢者と医療安全 B 高齢者と救命救急 C 高齢者と災害</p> | | | |
| <p>【テキスト／参考文献】</p> <p>系統看護学講座 専門基礎Ⅱ 老年看護学</p> | | | |
| <p>【評価】</p> <p>学科試験 筆記；100点をもって満点、60点をもって合格とし、60点未満を不合格とする</p> | | | |